

# IBM Media Retention Services

破損したメディア部品を社内で保管し、データ・プライバシーの保護とコスト削減に貢献

■  
**ハイライト**  
データの管理を維持し、機密情報を保護

規制遵守を効果的に管理し、関連する費用を軽減

積極的なメディア保管計画によりコストとダウンタイムを削減

損傷したドライブを資本資産として計上する資産会計を簡略化

今日のデジタル環境では、すべての組織がデータ・セキュリティとプライバシーの維持という課題に直面しています。

ハードディスク・ドライブ(HDD)、ソリッドステート・ドライブ(SSD)、フラッシュ・メモリーが破損した際、極めて重要な資産である顧客データの保護が必要です。通常、欠陥のあるメディア部品はメーカーの所有物となり、再整備して販売されます。可能性は低いですが、機密データが漏えいするリスクがあります。その結果、プライバシー規制の非遵守により組織が罰則を受ける可能性があります。機密データを管理下におき、セキュリティ要件に準拠するためには、欠陥のあるメディア部品を保管する安全かつコスト効率の高いソリューションが必要です。

IBM® Media Retention Servicesは、サービス修理により交換されるIBM製品のHDD、SSD、フラッシュ・メモリー・コンポーネントを保管することで、機密データの管理を容易にします。障害が発生する前にメディア保管を計画することで、資産の追跡、減価償却、予算計画を簡略化しつつ、交換作業を迅速化できます。HDD、SSD、フラッシュ・メモリーを社内で保管することで、規制遵守を効果的に管理し、顧客データのプライバシーを保護できます。

## データの管理を維持し、機密情報を保護

IBM Media Retention Servicesは、セキュリティ・リスクとコンプライアンス問題を軽減し、交換が必要な破損したメディア部品に保存された機密データを保護します。欠陥のあるメディア部品を使用済み部品として返却・再整備するのではなく、不良のHDD、SSD、フラッシュ・メモリーを敷地内に保管することができます。この方法では、破損したメディア部品を小売価格で購入せず、機密データのセキュリティとプライバシーを効果的に保護できます。



### 規制遵守を効果的に管理し、関連する費用を軽減

銀行、保険、医療、公共部門といった高度な機密性が求められる規制業界をはじめとする、すべての業界の組織は、プライバシーに対する懸念に対応する必要があります。IBM Media Retention Servicesを利用することで、デバイス保管の全過程の制御を維持することが可能です。HDD、SSD、フラッシュ・メモリーカードに保存される可能性のある機密性の高い情報のプライバシーを保護することで、組織は規制遵守を効果的に管理し、非遵守に伴う費用を軽減できます。

### 積極的なメディア保管計画によりコストとダウンタイムを削減

IBM Media Retention Servicesを使用すると、HDD、SSD、フラッシュ・メモリーが欠陥品で交換が必要な場合、メディア部品の保管に関する事前計画が可能です。保証期間中に交換するドライブからすべてのデータを消去することをIBMは義務付けています。ドライブが動作しない場合、データを消去できない可能性が高く、規制要件によりIBMはデータのあるドライブを受け入れません。データを削除できない場合、保証の有無に関わらずドライブ交換の小売価格を支払う必要があります。事前に計画を立てることで、ドライブの保管にかかる全体的なコストを削減し、ダウンタイムを最小限に抑えることができます。

### 損傷したドライブを資本資産として計上する資産会計を簡略化

IBM Media Retention Servicesは、保守およびメンテナンス・サービスの強化として提供され、サービス・コストを運用費用として時間をかけて分散します。このサービスは、IBMサーバーおよびストレージ製品の保証期間中または保証後に、年間または月間契約として提供されます。ハードウェア保守サポート契約にメディア保持を含めることで、交換したHDD、SSD、フラッシュ・メモリーの価値を資本資産として追跡・減価償却する必要がなくなります。メディア保管オプションは、会計プロセスを簡素化し、請求の複雑さを軽減し、組織内でHDDやSSDが増加するにつれて従業員の時間と労力を節約することができます。

### 結論

データ・セキュリティ規制を遵守するため、システム内の機密データとその取り扱いを詳細に確認する必要があります。データの不適切な廃棄はデータ侵害のリスクをもたらし、規制による罰則を受ける可能性があります。IBM Media Retention Servicesは、規制遵守を効果的に管理し、関連する費用を軽減する手助けとなります。メディア部品の保管することでデータ・プライバシーを強化し、資産計上を簡略化し、コストとダウンタイムを削減します。固定価格および範囲で提供される本サービスは、メンテナンス・サービスの強化として設計され、予算計画を容易にします。IBM Media Retention Servicesで、データをそのまま保管することにより、機密データが安全に保護されているという信頼と安心感が得られます。

IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスは、ミッション・クリティカルなシステムを24時間年中無休で、スムーズに稼働させ続けることができます。

#### **IBMが正しい選択である理由**

IBMのハードウェア保守サービスを選ぶ理由の詳細に関しては、IDC MarketScapeの「Worldwide Support Services 2022 Vendor Assessment」でリーダーとして選出されたIBMをご覧ください。<sup>1</sup>

#### **IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスをお勧めする理由**

IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービス(TLS)担当者は、テクノロジー業界の豊富な専門知識があります。当社のエキスパートは、19,000を超えるIBMおよびその他OEMのハードウェアとソフトウェア製品をサポートしています。世界中に活動拠点を持つIBMでは、TLSを通じてハードウェアとソフトウェアのサポート・サービスを包括的に提供しており、お客様のITポートフォリオ全体の依存関係を明確にすることができます。IBMはサービス、技術サポート、信頼性に定評があるうえ、IBM製品開発とエンジニアリング・ラボにもアクセスできるため、効率的なアドバイスを提供し、問題解決に導きます。IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスを利用すると、ミッションクリティカルなシステムを24時間年中無休でスムーズに稼働し続けることができます。

#### **詳細情報**

IBM Media Retention Servicesの詳細については、IBMの担当者またはIBM® Business Partnerにお問い合わせいただくか、[IBM TLSの専門家](#)に直接連絡するか、[www.ibm.com/jp-ja/services/networking-support](http://www.ibm.com/jp-ja/services/networking-support)をご覧ください。

© Copyright IBM Corporation 2023

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

2023年7月、米国で制作

IBMとIBMのロゴは、米国およびその他の国々におけるIBMの商標または登録商標です。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたは他社の商標である可能性があります。IBM商標の最新リストは、[ibm.com/jp-ja/trademark](https://ibm.com/jp-ja/trademark)でご確認いただけます。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開しているすべての国で、すべての製品が利用できるわけではありません。

本資料の情報は「現状のまま」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとします。

IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

<sup>1</sup> [“IDC MarketScape: Worldwide Support Services 2022 Vendor Assessment”](#) ロブ・ブラザーズ著、2022年3月、IDC # US48896919

